

早いもので年度末の3月に入りました。1日(日)は、第74回卒業証書授与式が厳かに盛大に執り行われました。皆さんの式に臨む一糸乱れぬ姿勢に感動しました。満行校長先生は式辞の中で、次のお話をされました。「保護者様、ご家族の皆様、お子さまの卒業、誠におめでとうございます。お喜びはいかばかりかと拝察いたします。これまでのご苦勞に敬意を表しますとともに、お子さまの成長を心より



お喜び申しあげます。卒業される6名のみなさん、昼はアルバイト、夕刻から学習の繰り返しの毎日は、長い道のりではなかったかと思えます。もう学校を辞めてしまおう



か、との考えがよぎったときもあったのではと想像します。皆さんは大高定時制でたくさんのご経験し、大きく成長しました。自信を持って様々なことに挑戦して欲しいと思います。ですが、悩んで途方に暮れる場面があるかもし



れません。そのような時は助けを求め、手を借りることをためらわないで欲しいと心から願います。「自立とは依存先を増やすこと」東京大学准教授の熊谷普一郎さんの有名な言葉です。熊谷さんは「本当の自立はお互いに依存できる関係の中で成立する。だから自立した人には何かあった時、「相談できる人」「弱音を吐ける人」がいっぱいいる。一人ぼっちで生きら

れることが自立だとは思わない。「助けて」と言えること自体が自立している証拠である。」



と説いています。名残は尽きませんが、いよいよ旅立つときが来ました。母校である大高定時制はこの地から、皆さんをこれからもずっと見守っています。皆さんの成長を喜びとしてきたご家族・保護者の皆さん、地域や同窓生の皆さん、そしてこの大高定時制で皆さんと出会う縁に恵まれた後輩や私達教職員の全



てが皆さんの応援者であり、皆さんの幸せな人生を心から願っています。」

皆さんの大先輩であられる来賓の方が出席されていました。卒業生、在校生一人ひとりが、心を込めて立派な卒業式にさせていただいた、と満行校長先生に直接伝えられたそうです。やればできるんですよ、皆さん。見ている人は見ているんです。改めて、皆さんの成長を感じております。

最後の学年末考査が終了しました。一生懸命に取り組んでくれたものと信じております。来週に成績が出そろいます。4月からは新3年生として、学校生活後半戦へ突入します。これまで、繰り返し指摘されていること、修正すべきことなど、新年度が始まる前までに各々改善を図っておきましょう。